



**IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM**

**GR86/BRZ Race
PROFESSIONAL Series**

**グッドイヤーの新スペックタイヤ導入も、予選は不発
追い上げが期待された決勝は、台風接近によって無念の中止に**

 **SUZUKA CIRCUIT** (三重県)

GR86/BRZ Race PROFESSIONAL Series 第9戦

2017年10月21日～10月22日 鈴鹿サーキット

雨 8周 (33台出走)

予選26番手/決勝中止

ドライバー：平木 湧也

メカニック：新井 惇 (牛久南店)

メカニック：永島 正登 (神栖知手店)

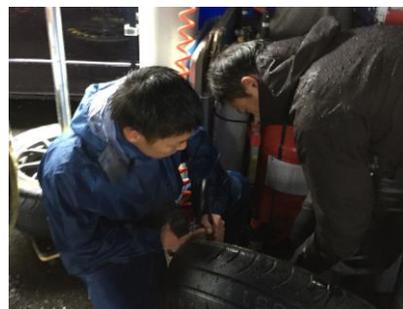


鈴鹿サーキットを舞台に、GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズの第9戦が、10月21～22日に開催された。茨城トヨペットレーシングチームは、今回も平木湧也選手を要して挑んだ。

今回1番のトピックスは、「茨城トヨペット 86レーシング」が装着するグッドイヤーが、新スペックのタイヤ、EAGLE RS SPORT V2-SPECを投入したことだ。ますます激しくなるタイヤウォーズにおいて、平木選手は強力な武器を手に入れることとなった。

しかし、レースウィーク最初の走行となった、木曜日のスポーツ走行はあいにくのウェットコンディション。秋雨前線の停滞と台風21号接近の影響で、勢いを変えることはあっても、セッション中は絶えず雨が降り続く。ならば……とばかりに、さまざまなセッティングを試し、引き出しの数を増やすことに。それはそれで一応の成果を得ることになるのだが、問題はあまりにも雨量が多いこと。せっかくの新タイヤの性能をなかなか引き出せずにいた。

金曜日2本のセッションのうち、2回目は専有走行とあって計時も行われた。相変わらずウェットコンディションのままであったが、ここで大勢も明らかになる。降り続く雨の中、平木選手は2分38秒201がベストタイムで、全体の27番手に留まってしまう。



なんとか予選はドライコンディションで……という願いも虚しく、予選の行われる土曜日はより強い雨に見舞われる。直前に行われたスーパーフォーミュラの予選では、3回の赤旗中断があったほど。そのため、本来はQ3まで行われるはずだったが、Q1だけで終了。86/BRZ レースプロフェッショナルシリーズの予選は、23分遅れで開始された。

平木選手はコースオープンと同時に走行を開始し、ドライコンディションであればワンアタックに留める

ところを、今回は最後まで走り続ける作戦を採ることとなった。タイヤにしっかりと熱を入れるためと、セッション後半の急激なコンディション回復を期待したためだ。

平木選手は計測1周目をウォームアップに充てた後、まずは2分44秒811をマーク。ただし、この周も完全にクリアラップが取れたわけではないため、まだ十分にタイムは短縮されるものと思われた。ところが、続く2周はまさに渋滞状態での走行となり、タイプアップならず。やむなくペースを大幅に落として、しっかりポジショニングを整えた上でラストアタックにかかったのだが……。その周は2分46秒692に留まってしまい、無情にもチェッカーが。

その結果、平木選手と「茨城トヨペット 86 レーシング」は、26番手から決勝レースに挑むこととなり、追上げが期待された。しかし、予選の終了からしばらくして日曜日の全レース中止が発表となる。レースの安全性はもとより、観客の安全を考慮されたのが理由だった。

残すレースは富士スピードウェイで12月10日に、TGRFと併せて行われる最終戦だけとなった。このレースが、平木選手の集大成の一戦になることが期待される。



平木湧也選手のコメント



「ずっと引っかけばかりの予選でした。ベストタイムになった周も、その後も……。それでいったん間隔を保って、最後に出す予定だったんです。僕の予想では、常に走り続けてリヤタイヤをしっかりと温めたところでタイムが出ると。ところが、今回からグッドイヤーさんが投入してくれた、新しいスペックのタイヤがあまりにも多く雨が降り続いたせいで、僕が性能を引き出せなかったというか。最後までグリップ感を得られぬまま、終わってしまったという感じでした。本来ならば、決勝レースも雨でしょうから、1周目、2周を我慢して冷静に状況を見ながら、そこから勝負をかけるような展開を考えていたのですが、中止はやむを得ないと思います。僕ら以上に、お客さんの安全が第一ですからね。グッドイヤーさんの新しいタイヤも、きっとドライコンディションではすごい性能を発揮するでしょうから、僕も最後まで諦めず頑張りますので、最終戦では応援よろしくをお願いします！」

チーム監督のコメント ～石川 一郎 (FUN TO DRIVE 推進グループ)～



GR86/BRZ Race 第9戦 鈴鹿サーキットの結果は、予選:26位、決勝:中止
ご支援、ご声援いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
第9戦 鈴鹿は、台風接近の影響もあって、絶えず雨に見舞われウェットコンディションの中での走行となりました。今回、グッドイヤータイヤもニュースペックを導入しましたが、激しく降り続く雨で、ニュータイヤの性能を引き出せなかったことが悔やまれます。今大会期間中、初日から大雨に見舞われましたが、チームスタッフ全員で協力し、雨のレースを楽しむことができました。残す GR86/BRZ Race は、12月10日に富士スピードウェイで開催される最終戦だけとなりましたが、ベストリザルトを残せるよう頑張ります。今後ともご声援、よろしく願いいたします。

メカニックのコメント ～新井 惇 (牛久南店)～



今回の研修で、普段の業務とは違うレースの世界の楽しさ、難しさ、奥深さを感じることが出来ました。初日はなにをすればいいのかまるでわからず不安でしたが、チームの皆さんが丁寧にサポートしてくださり、その時々走行条件による細かな車両セッティングを学ぶことが出来ました。決勝がキャンセルになってしまいそこだけは非常に残念でしたが、なかなか経験できない貴重な5日間でした。もっとレースの楽しさを皆さんに知ってもらいたいですね。研修参加に協力してくださった牛久南店の皆様、GR86/BRZ Race 関係者の方々ありがとうございました。

メカニックのコメント ～永島 正登 (神栖知手店)～



今回の研修で、実際にレースに出る車両の整備やセットアップを行い、レース関係者の皆様から色々な話を聞くことができ、とてもいい経験になりました。今回のレースではタイヤの空気圧のチェックがここまでシビアな調整が必要なことに驚きました。初めての経験だったので最初は出来るか不安でしたが、スタッフ皆さんから優しく教えていただき、毎日楽しく出来ました。天気は毎日雨でしたがとても充実した5日間でした。湧也くん、玲次くん、次のレースも頑張ってください！また機会があれば是非参加したいです。

GR86/BRZ Race

Racing Development
TRD

GOODYEAR

PMU

BILLION
OILS

BRIDE